



標企財 第 36号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

北海道川上郡標茶町長 池田 裕二



中期的な計画策定に係る意見の提出について

国道企第114号によりご依頼のありました件につきまして、別紙のとおり意見を提出いたします。

(企画財政課企画調整係)

中期計画策定に係る意見書

市町村名 北海道川上郡標茶町

(はじめに)

本町は、北海道東部のほぼ中央に位置し、1,099.41平方キロメートル、東京都の約半分という広大な面積を有し、酪農業を基幹産業とし、また、釧路国立公園並びに阿寒国立公園を有するなど豊かな自然を背景に生活と生産を営む町であり、その環境の中、国内有数の食料生産を行い、また、大自然の体感を望む数多くの国民が訪れる場所ともなっております。

一方、寒冷積雪地帯でもあり、冬期間はマイナス20度を超す厳しい寒さや視界不良を起こす猛烈な地吹雪など、厳しい自然も併せ持つ地でもあり、本町の持つ国内的役割を果たすためにも、安全安心な交通網は必要不可欠な要件となっております。

(現状と課題)

* 流通と人の流れ

根室沖については中型船以上の船舶が航行できないこともあり、釧路圏域はもちろんのこと、根室、網走両圏域の生産、生活物資は釧路港から荷揚げされ国道、道道を中心に大型車両で輸送されており、逆に道東で生産される海産物、農業生産物は首都圏をはじめとする全国に輸送されており、本町からも生乳が毎日ピストン輸送されております。

また、北海道を体感できる道東へ国内外の観光客は増加しており、道内の各空港、港湾等から陸路を持って訪れており、とりわけ世界遺産となった知床への人の流れは道路交通網を持って維持されているところであり、釧路空港から当町を経由し、網走方面へ流れる観光交通も増加している状況です。このような状況に対応した道路ネットワークの構築が必要不可欠となっております。

* 医療の確保

本町においての医療機関としては町立病院を有しておりますが、一次医療となっており、高度な医療を必要とする二次医療を受けるためには釧路市内の医療機関に頼らざるを得ない状況であり、医療を取り巻く環境は、住民の高齢化も含め今後さらに厳しい状況となることが考えられ

ます。

また、救急搬送の実態をみても、傷病者は町民のみならず、観光客など道内外の方の命を守っている状況にあるため、高規格な道路ネットワークの構築が必要不可欠であります。

***冬期間の危険性**

前述のごとく、猛烈な地吹雪等により交通障害を起こすことが多々あり、自然の猛威の前においては未だ不十分な状況にあり、生活や生産に多大な影響を及ぼしています。

具体的には、長期間の通行止めによる生産乳の廃棄、子育て支援の中核をなす保育園の長期休園、救急搬送の迂回等がみられますが、結果として、本州への生産物の遅配、冬道の慣れがない観光客の安全性の確保等、大きな問題がある状況です。

このような状況を踏まえ、時間短縮の観点から、高規格な道路ネットワークの構築、冬期に通行止めにならないような道路整備が必要不可欠であります。

***災害時の安全確保**

本町を通過する国道は、周辺の火山である雌阿寒岳噴火時における、避難経路としての役割を担う道路であり、冬期の通行止め等多発する状況であるが、本町を含めた周辺地域の避難等の迂回りダンダンシー確保の観点からも非常に重要な道路となっています。よって、地震等の災害時の安全な迂回路の確保という観点から、高規格な道路等の災害に強い道路整備が必要不可欠であるとともに、既存の道路においても、適切な道路管理が重要と考えます。

***地域産業と道路網**

国内食料生産の一翼を担っております本町の基幹産業である酪農は、近年、大型化が進められ、自宅の近隣にある牧草地だけでの飼料確保は困難な状況にあり、20km以上離れた牧草地の生育管理及び大型車両による牧草の搬送は大きなリスクを抱えており、通行の安全性の確保並びに時間に短縮は本町経済活動に大きな影響を与えることから、円滑な物流を確保するという観点から、高規格な道路ネットワークの構築が必要不可欠であります。

***教育の確保**

本町には小中学校が12校あるが、生徒数の減少により統廃合が進められ現在の状況となっており、遠方からの通学に対してはスクールバスと路線バスが通学の足となっている。

前述のごとく、広大な面積であるが故に最長で30km以上離れたところからの通学もあり、安全・安心な道路整備は本町の児童生徒の教育確保に不可欠な要件となっています。

(おわりに)

本町は、道内外の食料生産、心の潤いを国民に提供するなどの任務を担っていると認識しております。

したがって、それらの安定且つ安全な供給、提供を確保する必要があり、そのためにも道路環境の整備は今後ますます重要な要素となります。

また、更なる向上を図るためには、道内の空港、港湾を結ぶ高速道路体形を整えることが不可欠な状況と考えており、その結果、国際競争にも耐えうる国造りに貢献できるものと考えているところであることから、今後の中期計画策定において、以下の道路事業を盛り込んで頂きたい配慮いただきたい。

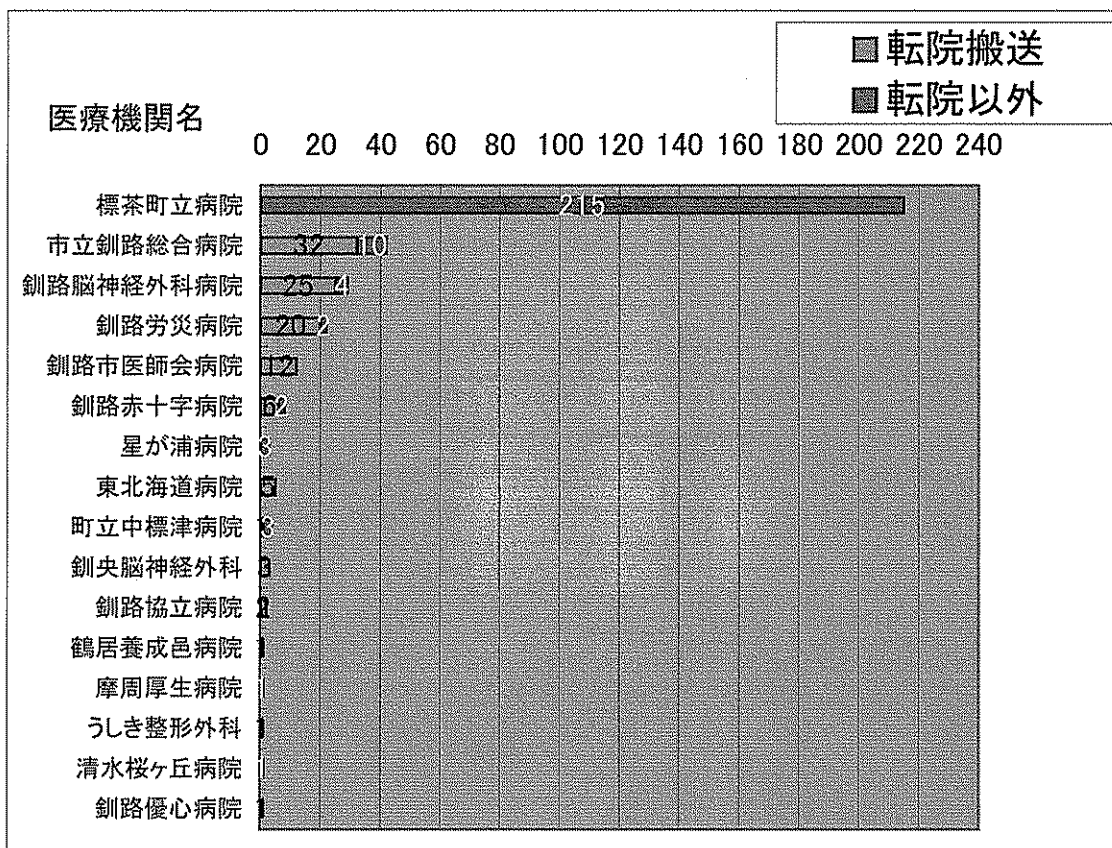
- ・北海道横断自動車道（本別～釧路）
- ・地域高規格道路道東縦貫道
- ・冬期等の安全な通行を確保できる道路整備
- ・災害に強い道路ネットワークの構築、道路ストックの適正な維持管理

意見に添える資料

北海道川上郡標茶町

平成18年度中の医療機関別搬送件数

		転院搬送	転院以外	合 計
1	標茶町立病院		215	215
1	市立釧路総合病院	32	10	42
2	釧路脳神経外科病院	25	4	29
3	釧路労災病院	20	2	22
4	釧路市医師会病院	12		12
5	釧路赤十字病院	6	2	8
6	星が浦病院		3	3
7	東北北海道病院	5		5
8	町立中標津病院	1	3	4
9	釧路脳神経外科	3		3
10	釧路協立病院	2		2
11	鶴居養成邑病院	1		1
12	摩周厚生病院		1	1
13	うしき整形外科	1		1
14	清水桜ヶ丘病院		1	1
15	釧路優心病院	1		1
	小計	109	26	135
	合 計	109	241	350



○平成18年度中の搬送人員(累計)	359人
(内訳)町内居住者	305人
町外居住者	54人
(町外内訳)道内居住者	47人
道外居住者	7人

冬期間の危険性
(地吹雪の状況)



地域産業と道路網 (酪農の大型化)



流通と人の流れ
(災害(油流出事故)平成15年11月25日)

